

# 平成21年度 千曲川河川事務所 事業の概要について

## 【事業概要のポイント】

こまき みずぼうさい  
①中野市古牧地区で水防災事業の推進

中野市古牧地区は、昭和58年、平成16年、18年の出水により、度重なる浸水被害が発生している箇所です。連続堤方式の河川改修が実施されるまでには、相当期間を要するため、経済的かつ治水効果の早期発現ができる「輪中堤方式」により事業を実施するものです。

②千曲川 篠ノ井上流地区の弱小堤対策を推進

洪水を安全に流すため、弱小堤となっている長野市篠ノ井地区の堤防整備を推進します。

## 【 問い合わせ先 】

国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所

副所長(技) 石川 俊之

調査課長 関 敏文

電話 026-227-7611 (代表)

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

# 1 千曲川河川事務所の事業方針

千曲川・犀川は地域の大切な宝であることを常に意識し、治水安全度の低さや豊かな河川環境、川に対するふるさとの想いを念頭に置き、地域と連携しながら以下の方針で事業を進めます。

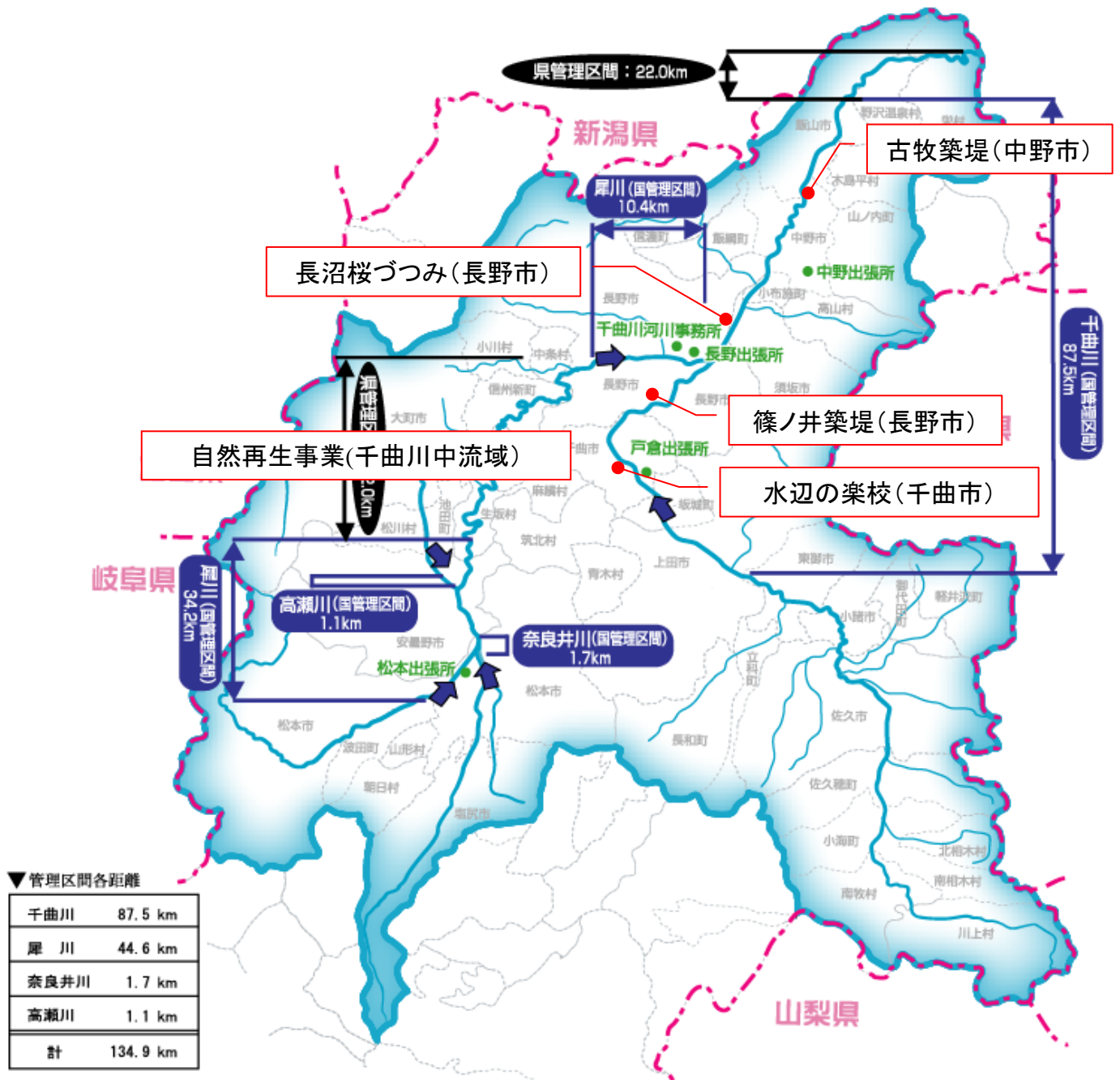
- ◆人々の生命・財産を災害から守るために全力を尽くす。
- ◆千曲川・犀川の自然環境を大切にし、詩情豊かで潤いのある川づくりを推進する。
- ◆河川の整備と管理を通じ、活力ある地域づくりの実現に貢献する。

# 2 平成21年度 当初予算の概要

事業名	平成21年度 当初予算	概 要	事業箇所
河川改修事業 (一般河川改修事業)	865百万円	千曲川・犀川流域内に生活する人々の生命や財産を洪水等の被害から守ることを目的として、無堤地区の解消(再度災害の防止)や治水安全度向上(現況堤防の強化)等を重点課題とした河川改修事業を展開していきます。	・篠ノ井築堤(長野市)
土地利用一体型水防災事業	227百万円	経済的かつ治水効果の早期発現ができる「輪中堤方式」により事業を実施します。	・古牧築堤(中野市)
総合水系環境整備事業	238百万円	良好な河川環境を復元するための自然再生事業、良好な水辺空間を創出するために桜づつみの整備、千曲市水辺の楽校事業を実施します。	・自然再生(千曲川中流域) ・長沼桜づつみ(長野市) ・千曲市水辺の楽校(千曲市)
河川維持修繕事業	1,364百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川環境に留意し、河道内で支障となっている樹木について、計画的な伐採を行います。</li> <li>・流下能力確保のための河道掘削を実施します。</li> <li>・堤防、護岸や河川施設が洪水時に正常に機能するよう、定期的に点検整備を行います。</li> <li>・河川/パトロールカー及び排水ポンプ等災害対策用機械の点検整備を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河道内樹木伐採(管内)</li> <li>・河道掘削(管内)</li> <li>・堤防除草、河川パトロール等(管内)</li> <li>・水閘門点検整備(管内)</li> </ul>
合計	2,694百万円	平成20年度当初予算 2,736百万円 対前年度比 0.98	

### 3

## 平成21年度 実施予定箇所 位置図





## 4

# 各事業の概要

## ②土地利用一体型水防災事業

こまき

### 【古牧築堤(中野市)】

#### 1)事業の目的

千曲川の立ヶ花下流部は川幅が狭く、無堤・弱小堤が連続しており洪水を安全に流すことができないため、昭和58年、平成16・18年の出水により、浸水被害が生じたことから、同規模の洪水を流すことを目的として、無堤地区対策を計画的に実施しています。

連続堤方式の河川改修が実施されるまでには、相当期間を要するため、経済的かつ治水効果の早期発現ができる「輪中堤方式」により事業を実施するものです。

#### 2)全体計画

築堤延長L=640m(暫定堤防)

#### 3)事業の経緯

平成20年度 新規事業採択

#### 4)平成21年度事業の内容

用地補償



▲古牧地区(平成18年7月豪雨)

## 4

# 各事業の概要

### ③総合水系環境整備事業

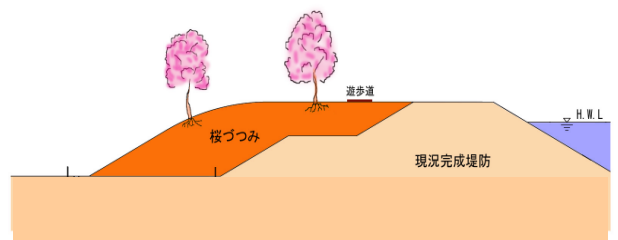
- ・良好な河川環境復元のための自然再生事業を行います。
- ・長沼桜つつみの推進を図ります。
- ・千曲市水辺の楽校プロジェクト事業の整備を図ります。



▲栗佐地区試験掘削後の状況



▲桜つつみ 完成イメージ



▲桜つつみ横断図



▲千曲市水辺の楽校(千曲市)

## 4

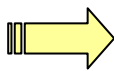
## 各事業の概要

### ④河川維持修繕事業

- ・河川環境に留意し、河道内で支障となっている樹木について、計画的な伐採を行います。
- ・流下能力確保のための河道掘削を実施します。
- ・堤防、護岸や河川施設が洪水時に正常に機能するよう、定期的に点検整備を行います。



▲河道内樹木 伐採前



▲河道内樹木 伐採後



▲河道掘削



▲大型遠隔操縦式草刈り機による堤防除草